

# とむに新聞



第10号

□二〇二三年(令和五年)七月  
□鞆の浦学園 学園会

## 鞆の浦体操ができるまで……

私達六年生は、鞆の浦体操」という鞆のみんなを元気にする体操を作りました。

鞆の浦体操」は、五年生のときに健康教育の勉強で鞆の高齢者や住民が元気で健康でいてほしいと思いつくしました。振り付けや音楽も一から作成し、編集も自分達でしたのですが、その中で特に苦戦したのが作曲と振り付けです。

作曲はどういう雰囲気音楽にするのか、そして振り付けはどうしたら鞆の浦をイメージしてもらえるのか、何度も話し合いました。そして、みんなと協力して、無事、鞆の浦体操」を完成させることができました！

作るだけではありません。もちろん広める活動もしています！



⑥講義 「健康とは何か」  
(藤井病院 平岩先生)



⑦講義 「健康的な動き」  
(理学療法士 野村先生)



⑧サロンでの聞き取り



まずは、鞆の浦学園の全校児童・生徒に知ってもらいたくて、鞆の浦体操」を一年九年生に伝えに行きました。

そして、今年の運動会では、全校で鞆の浦体操」をすることができました。

次に、鞆の浦学園に行きました。元気がいっぱい！鞆の浦体操」に取り組んでくれました。先生方も笑顔で体操をしてくださいました。先生方も笑顔で体操をしてくださいました。二日かけてさくらホームへ、鞆の浦体操」のやり方を説明しに行きました。

施設利用者の方のお話を聞いて、たくさんの方の笑顔も見られて嬉しかったです！現在、鞆の浦体操の第二弾も作成しています。中国新聞や山陽新聞、福山こども新聞にも取り上げていただき順調に鞆の浦体操が広まっています！

五年生での鞆学は、私達の鞆の浦体操」の形と達成感がどんどん大きくなるそんな授業でした！六年生もあと八ヶ月。残りの六年生の鞆学も無駄にせず鞆の浦体操」を広めること、七年生になる準備をしていきたいと思えます！

上のURLから鞆の浦体操」の動画が見れます。是非読み取ってみてください。



(六年 三宅 由珠)

## ありがとうを伝えたい

NO.10



今回「ありがとう」を伝えたいのは、総合文化部や鞆の浦学園の児童・生徒にいつも太鼓を教えてくださいました丑田敏昭さんです。先月「お手火」が行われましたが、代表で太鼓をたたいた児童・生徒も丑田さんに教えていただきました。初めに、丑田さんから太鼓を始めたのが聞いてみました。丑田さんはお手火の太鼓を、小学校四年生の時に叩き始めたそうです。

鞆の浦学園に太鼓を教えに来てくださるようになったのは平成十二年だそうです。きっかけは息子さんが中学校に通っていて、その学校の先生から依頼を受けたことがきっかけだったそうです。何年か指導された後、しばらくは指導されていない期間があったのですが、仕事を退職された後に、また指導に来てくださっているそうです。鞆の良さについて伺ったところ、祭りが一番だと言っておられました。その理由は、祭りは一人では出来ないけれど、祭りの準備をするグループや地域、友人などたくさんの方々を力と力を合わせることでできるからだそうです。そんな鞆のまちが好きだと言っておられました。そして、祭りを通して色んな人と関わり、新しい友達ができることも魅力だと教えてくださいました。

そして最後に鞆の浦学園の児童・生徒にメッセージをいただきました。総合文化部の皆さんは太鼓を楽しく叩いてほしい！太鼓を自由に叩けるようになってくると本当に面白いです！

また、学園の皆さんは、何をすることも目標を持ってほしい！

大きくなって鞆を出ることがあるかもしれませんができるだけ故郷の鞆に帰ってほしいです。

鞆の良さは、あまり考えたことがなかったですが、お話を聞いて、祭りを通して色んな人と関わり、地域の人たちと何かあったら連携できたりする所だと思つたようになりました。

(八年 藤本 望奈)

鞆のこども園や小中学校は、こうやって地域の人達などが協力してくれているので、すこく愛されているなと思いました。

(八年 園田 真生)

